

東海北陸グループ 18病院

- 富山県①富山病院
②北陸病院
- 石川県③金沢医療センター
④医王病院
⑤七尾病院
⑥石川病院
- 岐阜県⑦長良医療センター
- 静岡県⑧静岡てんかん・神経医療センター
⑨天竜病院
⑩静岡医療センター
- 愛知県⑪名古屋医療センター
⑫東名古屋病院
⑬東尾張病院
⑭豊橋医療センター
- 三重県⑮三重病院
⑯鈴鹿病院
⑰三重中央医療センター
⑱榊原病院



●資料のご請求・お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構 東海北陸グループ
人事担当

〒460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1 TEL052-968-5171

[URL] <https://tohkai.hosp.go.jp/>

または、各病院の管理課採用担当者までお気軽にお問い合わせください。

東海北陸グループ

東海北陸グループ
ホームページ



ロゴマーク解説

国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上を、飛翔する「翼」であらわし、柔軟な意識改革を示す毛筆で描きました。また、Health、Hospital、そして患者本意の懇切丁寧を意味するHospitalityの頭文字である「H」であらわし、健全な土台として描き、「翼」と組み合わせました。

国立病院機構とは? NHO?

国立病院機構 (NHO=National Hospital Organization) は、全国140の病院を一つの組織として運営する独立行政法人です。これまで、全国に展開する国立病院・療養所は厚生労働省が運営してきましたが、病院の自主性・自律性を活かして医療サービスの向上や効率的な運営を実現するため、2004年に独立行政法人となりました。2015年には多様で良質なサービスの提供を通じた公共の利益の増進を推進することを目的とする中期目標管理法人 (非公務員) となりました。

専門職として
チーム医療に貢献し
患者さんの目線に立った
医療を提供します

サポート制度「働きやすい職場づくり」

ワークライフバランス

やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などでも、子育て期、中高年期と言った人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できるような魅力ある病院づくりを推進しています。

子育て支援

小さなお子さんがいらっしゃる職員には、毎日無理なく頑張れる子育て支援を行っています。産前産後休暇、育児休業 (最長3年)、育児短時間休業、育児時間を設けているので安心して働けます。また、院内保育所を完備している病院もあります (病院によっては24時間保育、病児保育あり)。

病院間異動が可能

国立病院機構では、一人ひとりの目標やライフスタイルに合った環境で活躍できるよう、全国140病院での病院間異動が可能です。現在働いている病院にはない医療分野を経験したい場合、ご家族の転勤で住まいが変わる場合、地元に戻りたい場合など、退職することなく一人ひとりの希望に合った働き方を見つけることができます。

福利厚生

厚生労働省第二共済組合に加入。
短期給付事業 / 出産費、高額医療費、傷病手当金など法律に定められた給付の他に、診療費の一部負担金払戻金などの当共済組合が独自に行う給付制度があります。
長期給付事業 / 共済年金 (退職・障害または死亡にかかる年金) に加入することになります。
福祉事業 / 定期健康診断、財形貯蓄制度、引越やレンタカー、ホテルの割引制度、各種クレジットカードの優待制度、貸付金制度などの各種制度を備えています。

処遇[給与]

長く働き続けることでのメリットが大きい給与制度となっています。

		薬剤師		放射線、検査技師		管理栄養士		理学、作業療法士		児童指導員	
		大学6卒	大学卒	大学卒	短大3卒	大学卒	短大2卒	大学卒	短大3卒	大学卒	短大2卒
初任給	月給	約28万円	約25万円	約26万円	約25万円	約24万円	約21万円	約26万円	約25万円	約26万円	約24万円
	年収	約400万円	約370万円	約380万円	約360万円	約350万円	約310万円	約370万円	約360万円	約380万円	約350万円
6年目	月給	約32万円	約30万円	約29万円	約28万円	約27万円	約25万円	約29万円	約28万円	約29万円	約28万円
	年収	約490万円	約450万円	約440万円	約430万円	約410万円	約390万円	約440万円	約430万円	約450万円	約420万円
21年目	月給	約47万円	約45万円	約44万円	約43万円	約41万円	約40万円	約43万円	約42万円	約42万円	約41万円
	年収	約720万円	約680万円	約660万円	約650万円	約630万円	約610万円	約650万円	約640万円	約640万円	約620万円

※勤務する地域、病院により多少異なります。※月給は基本給+諸手当、年収は月給+業績手当(4.2か月分)を含んだものです。(令和7年3月1日時点)

総合専門職への道 General Specialist

- **国立病院機構東海北陸グループ研修**
東海北陸グループ18施設がタッグを組んで安心安全な医療を提供します。
- **国立病院機構本部研修**
全国140の病院ネットワークを活かし、わが国の医療の向上に貢献します。

01 新人



- 診療放射線技師研修
- 臨床検査技師実習技能研修
- 青年共同宿泊研修 (乗鞍)
- 青年共同宿泊研修 (御殿場)



02 主任



- クリティカルパス研修
- 中間管理者研修 (I)
- チーム医療推進 (NST) 研修
- チーム医療推進 (がん) 研修
- チーム医療推進 (輸血) 研修
- 医療従事者のための教育研修
- QC手法研修
- 長期入院患者のADL向上に関する研修
- EBMIに関する研修



03 副部門長



- 中間管理者研修 (II)
- 院内感染対策研修
- 放射線安全管理研修



04 部門長



- 医療安全管理研修
- 病院経営研修



充実した研修システムで、あなたの成長をサポート

国立病院機構本部や東海北陸グループでは、さまざまな研修会が用意されています。医師、看護師、薬剤師など医療スタッフを含む多職種合同のワークショップ形式研修です。また、全国的なネットワークを活用しITを用いた遠隔研修の充実を図ります。



より安全で効果的な薬剤による治療を 私たちがしっかりと支えています。

病気の治療に欠かすことのできない「クスリ」。患者さんにとって最も安全で効果的な薬物療法をしっかりと支えるのが病院薬剤師です。国立病院機構の薬剤師は、医師・看護師・その他医療スタッフとともにチーム医療の一員として、高度な医療を着実に支えるために、調剤・製剤、服薬説明、薬歴管理、注射薬調製、医薬品情報管理、リスクマネジメント、医薬品供給、薬物モニタリング、臨床研究、治験等に専門的に取り組んでいます。また、特定領域において他の医療職の期待に応えることのできる専門薬剤師の養成を目指し、学会・研修会等への参加をはじめ、院内感染対策チーム、緩和医療チーム、褥創対策チーム、栄養サポートチーム等への参加棟への、クリティカルパス共同作成等においても実践的な役割を果たしています。

Carrier Up キャリアアップ

薬剤師として採用された後、主任薬剤師、副薬剤部長、薬剤部長と昇任する制度があります。国立病院機構の18病院のほか、国立高度専門医療研究センターおよび国立ハンセン病療養所を含めた20病院間において人事異動(人事交流)が行われます。さらに、希望により厚生労働省(東京都)等への人事交流があります。

研修会・講習会

☑薬剤科業務習得のための支援

採用から3か月、6か月、3年、6年と区切って調剤業務、製剤業務、DI業務など各種薬剤科業務を経験・習得するとともに、主任薬剤師として責任を持って業務に望めるよう、スキルアップしていきます。

☑病棟業務ステップアップのための支援

各診療科の薬剤管理指導を経験し、ジェネラリストとしての薬剤師を目指します。そして、専門領域で指導薬剤師としてステップアップし、ICT、NST、緩和医療などのチーム医療に参画します。

☑各種研究や認定・専門薬剤師取得への支援

学術研究をプランニングして学会発表したり論文を投稿できるように支援します。また、がん、精神、妊婦・授乳婦などの認定・専門薬剤師取得へ向けて準備・支援をすすめています。

先輩からのメッセージ

病院薬剤師から 医薬品行政へ

平成30年度採用
市川 和哉



私は東海北陸グループで病院薬剤師として採用され、がん専門薬剤師として勤務していました。勤務する中で、専門薬剤師としてのキャリアを進めるだけでなく医薬品行政に携わりたいという思いが強くなり、厚生労働省への出向を希望し、現在は薬系技官として厚生労働省に籍を置いております。厚生労働省では、医薬安全対策課という部署で医薬品の市販後の安全対策の業務に携わっています。医薬品の安全対策といっても業務は多岐にわたり病院薬剤師の業務とは全く異なるため右も左も分からない知識はゼロからのスタートでしたが、病院薬剤師としての知識や経験を活かせる部分も多く、今は充実した日々を送っています。国立病院機構だからこそ病院薬剤師の経験を踏まえ厚生労働省等へ出向し、病院での勤務では得られない経験をすることができます。病院薬剤師として多くの選択肢があることも、国立病院機構の魅力の一つだと思います。国立病院機構で働いてみませんか？

病棟担当薬剤師として 楽しんでいます

平成28年度採用
青木 まりあ

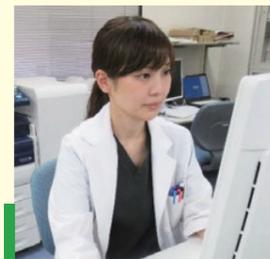


病棟業務では患者さんの服薬指導や医師への処方提案、副作用モニタリングだけでなく、PBPM(医師と事前にとりきめたプロトコルに基づいて薬剤師が積極的に適切な薬剤提供を行うこと)を取り入れ、患者さんの治療により貢献できるよう取り組んでいます。患者さんや多職種の医療従事者とのかかわりの中で知識を深めていくことができ、充実した日々を過ごすことができます。国立病院機構では1年目から病棟業務に携わることができ、様々なことにチャレンジできることも大きな魅力だと思います。患者さんや他職種の医療従事者から薬について相談されることも多く、チーム医療の一員として必要とさせていただけることに日々やりがいを感じています。



ICT/AST担当薬剤師 としてチーム医療に 参加しています

平成27年度採用
愛知 佑香



ICT/ASTは院内感染の発生を防ぐとともに、感染から患者さんと医療スタッフを守るために日々活動しています。平成30年度より新たに抗菌薬適正使用を支援するASTが組織され、多職種と連携しながら薬剤師も積極的に感染症治療に関わっています。AST担当薬剤師は、抗菌薬が長期に投与されている患者さんの治療状況を確認して抗菌薬が適正に使用されているかを評価し、必要に応じてチームの医師や看護師とラウンドを行い処方医師へのフィードバックを行っています。また、抗菌薬の投与設計やTDMの実施により抗菌薬の有効性を高め、副作用の軽減にも取り組んでいます。患者さんの治療方針を多職種と一緒に考えることはチーム医療ならではのやりがいであり、自身の成長にもつながっていると感じています。

薬剤師の専門性を 活かして

平成30年度採用
松木 克仁



私は、整形外科病棟での病棟業務やHIV外来に尽力しています。整形外科病棟では、医師と事前に取り決めたプロトコル(PBPM)に基づき、薬剤師が用量調節などの薬物療法に積極的にに関わり、患者さんに適切な薬物治療を提供しています。また、このPBPMを題材とした臨床研究にも力を入れていて、学会発表も行っています。HIV外来では、安心して薬物治療を行えるように患者さんへ服薬指導を行っています。HIV治療は薬物療法がメインであるため、服薬アドヒアランスの維持が治療成功に大きく関わります。また、副作用や相互作用も多いため、薬剤師の専門性が発揮できる分野です。未知の部分も多い分野であるため、常に最新情報を提供できるように日々勉強に取り組んでいます。時に大変なこともあります。薬剤師としての職能・知識を発揮できて充実した日々を過ごすことができます。国立病院機構は規模も大きく、自分の興味を持てる分野がきっと見つかると思います。国立病院機構の病院薬剤師として、充実した日々を送りませんか。



「高い技術」と人としての「豊かな心」を持つ 医療人の育成に取り組む。

東海北陸グループ国立病院機構職員として機構の理念でもある「国民一人ひとりの健康とわが国の医療の向上のために」を合言葉に、日々良質な医療の提供に努めています。また、放射線業務（エックス線CT検査、核医学検査、放射線治療など）の専門職として安全で安心な医療の提供と患者さんの目線に立っての懇切丁寧な医療を実践し、患者さんに必要とされる医療人を目指しています。

Carrier Up キャリアアップ

放射線管理上必要な第一種放射線取扱主任者、第一種作業環境測定士や放射線診療の向上のための検診マンモグラフィ認定技師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士、X線CT専門技師、磁気共鳴専門技術者、核医学専門技師など目的に応じた認定資格取得に向けて各自研鑽を積んでいます。

研修会・講習会

本部研修として放射線科医師及び診療放射線技師を対象とした放射線管理研修、東海北陸グループにおいては卒後3年～主任技師を対象とした診療放射線技師研修を企画開催しています。放射線被ばく管理や法令改正、線量測定など幅広い範囲の研修となっています。東海北陸グループでは医師、看護師、コ・メディカルと一緒に取り組む研修も数多く企画されています。

新人教育プログラム

国立病院機構東海北陸グループ独自の標準化された診療放射線技師新人教育を行っています。一般撮影からMRI検査（アイソトープ検査、放射線治療を除く）まで、3年間の習得を目指します。このプログラムで到達する診療放射線技師は国立病院機構が求める放射線技師像であり、国立病院機構の理念に沿った診療が実践できます。施設による格差を少なくし、効率的かつ均一的な業務習得を目的にGIO（一般目標）とSBOs（個別行動目標）を設定し、指導者と新人技師が到達状況を確認しながらステップアップすることができているプログラムです。

先輩からのメッセージ

スキルアップをめざして

平成21年度採用
河合 祐太



国立病院機構の名古屋医療センターで実習をさせて頂き、生き生きと働いて見える先輩方を見て、国立病院機構への就職を決めました。国立病院機構の特色として、転勤が挙げられます。私も施設が変わる前は転勤に対して不安の方が大きかったです。実際に経験してみると、技師としても人間としてもスキルアップができるシステムではないかと思っています。新人教育プログラムによって、他施設に比べ様々なモダリティを早い段階で経験できます。また、様々な地域に住んだり、色々な人と会うことにより、見識を深めることができます。現在、国立病院機構では様々な資格取得者が在籍しています。そういった方々から刺激を受けたことにより、私も医学物理士の資格を取得いたしました。取得した資格を業務に生かせるように、今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。

しっかりとした教育体制

令和4年度採用
北村 優葵



現在は新人教育プログラムに沿って、一般撮影、CT、MRI、血管造影検査に携わっています。このプログラムがあることで、入職後3年をかけて各モダリティを経験できるため、それぞれの検査への理解をしっかりと深めることができます。また、様々な資格を取得している先輩が周りに多くいるため、自分自身も挑戦しやすい環境だと感じています。私は検診マンモグラフィ認定技師の資格取得を目指していますが、すでに資格を取得している先輩方から指導を受けられることを心強く思っています。勉強会や研修会に参加する機会も多くあるので、技師として貴重な知識や経験を積むこともできます。ぜひ国立病院機構と一緒に頑張りましょう！

放射線取扱主任者（兼任）として

平成23年度採用
市井 佑樹



国立病院機構では、マルチに活躍できる技師になるために新人教育プログラムという制度を導入しています。就職後、3年間で一般撮影、CT、MRI、血管撮影の放射線取扱業務全般の技術を習得します。私は現在CTを専門としています。多彩なモダリティを経験することで、患者さんの症例に対して、様々な角度から考えることができている。また、資格取得にも力をいれています。昨年、放射線取扱主任者資格を取得しました。働きながらの資格取得は大変でしたが、先輩方のアドバイスや併設している臨床研究センターの支援を受けることもでき、合格することができました。来年度からは、放射線取扱主任者としても頑張っていきます。当院は診療科も多く、スタッフもたくさんいます。他職種のスタッフから教えてもらうことはたくさんあり、医療人として成長することができています。向上心の高い仲間と仕事をするのは、きっと充実した日々になると思います。一緒に働くことを楽しみにしています。

私が国立病院機構を薦める理由

平成30年度採用
水谷 旭宏



入職して3年の間は新人研修プログラムに沿って、一般撮影、CT、MRIを習得するため日々業務を行います。最初は慣れない業務で不安もありましたが、頼りになる上司や優しい先輩が成長をサポートしてくれます。現在は新人研修プログラムを終え、様々な資格の取得を目指し日々研鑽しています。今年度はDMATの隊員になることができたので、今後災害医療へ貢献していきたいと思っています。このように国立病院機構には新人が成長していく体制と資格取得に励むことのできる環境が整っています。私は新人の頃に憧れていた先輩像に近づけられる様に頑張っています。これから仲間になる皆さんと共に成長していきたいです！ぜひ国立病院機構へ！



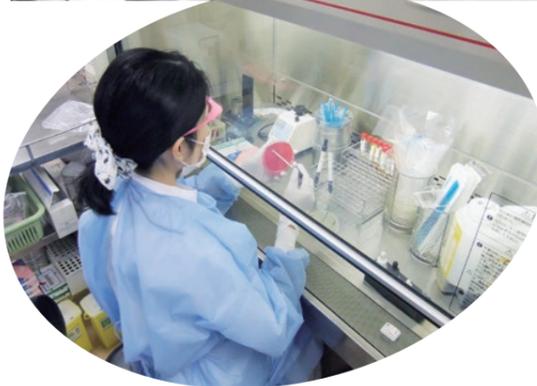
「迅速で正確なデータの提供」を目指し、 「チーム医療の向上」に貢献します。

臨床検査技師は、各病院において生理機能検査、病理検査、微生物検査、臨床化学・免疫検査、輸血検査、血液検査、一般検査、緊急検査等に専門的に取り組んでいます。日々進歩する医療の中で、学会・研修会等への参加をはじめ、各種学会医療関連の認定資格を取得するなどスキルアップをはかり、医師・看護師・その他の医療スタッフとともにチーム医療の一員として臨床検査技師としての職能を発揮する努力をしています。

各種認定資格

東海北陸グループ内の病院には、各種の認定資格を取得して頑張っている臨床検査技師が多数勤務しています。国立病院機構には様々な機能や特色を持った病院があることから、各種研修を通して自身の技術・知識のスキルアップが可能となっています。

- 細胞検査士、超音波検査士、認定輸血検査技師、認定臨床微生物検査技師、ICMT、糖尿病療育指導士 等



先輩からのメッセージ

ともに成長できる 場所

平成28年度採用
寺井 貴志



私は社会人を経て、大学に再入学して臨床検査技師になりました。入職して8年目を迎え、現在は病理検査を担当しています。私は異業種からの転職だったので当初は不安でいっぱいでしたが、優しい先輩や同僚に助けを頂きここまでやってこられました。資格取得のサポート体制も整っており、先輩方の指導のおかげで3年目に細胞検査士を取得することができました。東海北陸グループは18の施設からなり、それぞれ専門分野が異なります。それゆえ、幅広い知識や技術を磨くことができます。また人事交流があるので横のつながりが強く、困った時には他施設に相談できることも国立病院機構の良さだと思います。みなさんと一緒に働ける日を心待ちにしております。

一緒に 働いてみませんか

平成29年度採用
後藤 勇也



私は名古屋医療センターに入職し、血液検査に配属されました。名古屋医療センターは血液内科を専門のひとつする施設でもあります。そのような施設で経験したことを活かして、私は二級臨床検査士(血液学)、認定血液検査技師、認定サイトメトリー技術者を取得することができました。また、多くの先生や先輩の力を借りながら、資格だけでなく、学会発表や論文投稿など研究に勤しんでいます。国立病院機構では技師間だけでなく、多職種と連携をしながら医療に取り組むことができます。より良い経験ができる国立病院機構でみなさんも一緒に働いてみませんか。



自分らしく 好きなように

平成23年度採用
加藤 あゆみ



当機構は転勤制度があり、人の流れが生まれることで色々な人に出会い、そこから得る知識や経験は想像をはるかに超え、「なりたい自分」が見えてきました。私自身も転勤を経験しています。結婚を機の一つ目の病院を離れることになりましたが、幸いにも同じ機構内で異動できることはとても心強かったです。新しい土地でも、今まで過ごしてきた施設の上司や同僚との交流が絶えることなく続いていくのは魅力的で、育児休暇や時短勤務などもすでに経験されている先輩方に支えて頂くことで、公私ともに充実した日々を送っています。機構での職務に興味と期待を抱いて、みなさんが東海北陸グループの一員となり、一緒に仕事ができることを心待ちにしています。



スキルアップできる 環境があります

平成31年度採用
矢野 仁美



私は平成31年度に採用となり三重中央医療センターへ入職しました。現在は生理検査室に配属され、超音波検査や心電図、呼吸機能検査など様々な検査に携わっており、正確な結果を返すことはもちろん、患者さんに寄り添った検査ができるよう努めています。働きながら勉強することも多く大変ではありますが、先輩方の支えのもと、昨年度には超音波検査士の資格の取得ができ、充実した日々を過ごしています。国立病院機構では、様々な研修会や学会が開かれているので、スキルアップできる環境が整っています。研修会や学会などを通して、他施設の方と交流したり情報交換ができたりすることも魅力の一つだと思います。多くの施設で貴重な経験と自身のスキルアップができる環境が整っている国立病院機構で、皆さんと働ける日を楽しみにしております。

Registered Dietitian



安心・安全な食事の提供と、個々の患者さんの栄養状態を把握し、適切な栄養管理を行います。

現在、東海北陸グループ管内の管理栄養士は約80名。グループ内には急性期・回復期・慢性期・精神医療など、さまざまな特色をもつ施設が存在し、管理栄養士はそれぞれの分野において、一人ひとりの患者さんに適切な栄養管理を行い、栄養状態の改善から病態や病状の改善につなげられる様に努めています。「食」や「栄養」に関わる専門職種として、多職種と共同して行う「チーム医療」の場においても患者さんのQOL向上に貢献しています。

また、「食」とは単に栄養を身体に取り入れることだけでなく、「生きる力」や「食べる楽しみ」を感じられるものです。専門職種としてホスピタリティを感じられる食事を提供できるように、日々の献立やイベント食などの食事サービスにも力を注いでいます。

医療分野における管理栄養士の活躍の場は、年々増加しており、より専門的な知識が求められるようになってきています。国立病院機構内の管理栄養士が集まる研修会や研究発表会が定期的に行われており、多くの管理栄養士の仲間と共に、広いネットワークを活かした情報共有、個々のスキルアップを図ることができます。



先輩からのメッセージ

様々な医療分野の
病院と医療スタッフと
働けることが魅力です!



平成15年度採用
島田 真理

国立病院機構東海北陸グループには18病院があります。私は入社して20年経ちますが、その間に4病院で働く機会を得ました。各病院の医療分野に適した献立作成や食品発注等の給食管理業務と栄養指導やNST等の臨床栄養管理業務を行ってきました。様々な医療分野の管理栄養士業務を経験できたことや、多くの先輩や後輩、医師・看護師・薬剤師等の他の医療スタッフと共に業務で得た知識は自身のスキルアップに繋がりました。現在は栄養管理室長として管理業務も行っており、これまでの経験と知識を活かしながら充実感をもって業務に励んでいます。様々な医療分野の病院と医療スタッフと働けることが、国立病院機構の魅力です。皆さん、国立病院機構東海北陸グループの管理栄養士として私たちと一緒に働いてみませんか?

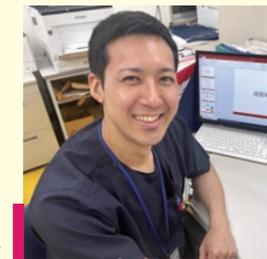
多施設で得られる
専門性を活かして



平成23年度採用
嶋田 康久

私は結核・重症心身障がい・神経難病等の診療を専門とする七尾病院に勤務しております。当院の患者さんは長期入院の方が多く、四季を感じられるような食事提供、工夫は欠かせません。毎日楽しみに、そして欠かすことの出来ない「食」を通して患者さんとコミュニケーションを図り、栄養状態の維持・改善をサポートすることを心掛けながら、多職種連携で栄養管理を行っています。また国立病院機構は異動が伴います。私自身、急性期施設から慢性期施設への異動を経験していますが、各施設で特徴が異なるため、新たな施設で新たな知識を習得、経験ができ、自身のスキルアップが可能な環境と感じています。そして研修会等を通じて、他施設の管理栄養士との交流、繋がりができるのも魅力ではないでしょうか。多様な専門性を身に付けられる国立病院機構で共に成長していきましょう。

目指せ!
オールマイティな
管理栄養士!



平成27年度採用
小野田 慎平

私は三次救急医療機関である名古屋医療センターでがん、集中治療領域の栄養管理などを8年間経験したのち、回復期リハビリテーション、重症心身障がい児(者)・結核医療等の診療機能を持つ東名古屋病院へ昇任異動をしました。現在の業務はチーム医療(NST、褥瘡、摂食機能)、栄養指導や学生指導を行っています。国立病院機構は各施設によって専門医療分野が異なります。それまで自分の全く知らなかった医療の世界を見ることができ、医療と栄養の繋がり、そして、その難しさや面白さも知ることができます。そんな国立病院機構で働けば、なんでもできるオールマイティな管理栄養士になれるかも!

「食べること」の楽しみを
病院の栄養士として
支援しませんか



平成27年度採用
坪井 涼

私は天竜病院で神経難病、児童精神科を、三重中央医療センターでNST、糖尿病、周産期の栄養管理を経験させていただいた後、現在はICUや周術期の栄養管理に携わっています。国立病院機構は重症心身障がいや神経難病に特化した慢性期病院もあり、異動があることで様々な施設で多くの経験を積むことができる点が魅力だと思います。地域や病態が違って「食べること」を楽しみや生きがいに行っている方は多くいらっしゃると思っています。提供するお食事に対して「おいしかったよ」という言葉をいただいたり、栄養相談・集団教室で患者さんの喜ばれている姿や「良くなったよ」と嬉しそうな笑顔が見られると非常に励みになります。これからも患者さん一人一人の気持ちに寄り添いながら「食」を通じて支援していきたいと考えています。





患者さんの身体機能面を中心に支え、QOLの向上をお手伝いします。

東海北陸グループ国立病院機構職員として機構の理念でもある「国民一人ひとりの健康とわが国の医療の向上のために」を合言葉に、日々良質な医療の提供に努めています。国立病院機構東海北陸グループの理学療法士は主として身体に障害をお持ちの方々のQOLの向上を目指して、病期病状に応じたリハビリテーションサービスを提供します。

特に国立病院機構が担う政策医療を確実に実施するため、神経・筋疾患、神経難病、骨・運動器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、成育医療、重症心身障がいなどに対する専門的な治療、研究、教育、情報発信を行う病院ネットワークを生かし、それぞれの病院において理学療法業務に専門的に取り組んでいます。

Carrier Up キャリアアップ

理学療法士として採用された後、主任理学療法士、副理学療法士長、理学療法士長へ昇任する制度があります。

研修会・講習会

各病院での教育研修の他、国立病院機構本部やグループが主催する研修があります。本部主催研修としてはリハビリテーション研修（急性期、セーフティネット）、リハビリテーション領域における業務改善の考え方研修、青年共同宿泊研修等が予定されています。

グループ主催研修としては、中間管理者研修、クリティカルパス研修、医療安全対策研修等が他職種と一緒に取り組む研修も数多く企画されています。



先輩からのメッセージ

力戦奮闘中!

令和2年度採用
小川 和輝



私は名古屋にある国立病院機構の専門学校を卒業し、静岡医療センターに就職しました。

1年目は神経難病や重症心身障がい児者の理学療法に携わっており、現在は外科、脳血管疾患などの急性期医療に携わっています。様々な疾患を担当する中で、臨床知識に戸惑うことも多くありますが、リハビリテーション科での症例検討会や勉強会などを通し、臨床の考え方や理学療法技術を学び、日々の臨床に取り組んでいます。

急性期から慢性期といった様々な分野で活躍される先輩方の背中をみて、自分も目標をもって頑張ることができる環境だと実感しています。未熟な点が多くありますが、今後も見聞を広めつつ臨床や研究に励みたいと考えています。



多施設経験により 得られるもの

平成24年度採用
高場 章允



民間病院2施設を経験した後に国立病院機構に転職しました。機構では名古屋と金沢の医療センターで急性期医療を経験し、現在は神経難病や重症心身障がい児者の理学療法に携わっています。

機構の一番の魅力は、多施設で急性期から維持期までの様々な疾患を対象としていることだと私は感じています。多様な勤務先があるからこそ、自身の転職前の経験も活かすことができました。また、臨床では重複障害を持つ患者さんや、基礎疾患とは異なる領域の合併症への対応を求められることがありますが、多施設での勤務経験があれば幅広い領域への対応が可能になると思います。

多様な専門性を身に着けつつ、その中でも得意な領域を兼ね備えた理学療法士になることを目標に、日々臨床に励んでいます。

異動により沢山の 人に出会えます

平成19年度採用
池戸 利行



私は2人職場の公立病院に11年勤務した後NHOに就職しました。入職後3県4施設で勤務経験を重ねる中で、それぞれの施設が担う役割（急性期病棟、回復期病棟、地域包括ケア病棟、国の政策医療）に対応した理学療法士との出会いを通し、固執された自分の考えや手技を見直し理学療法士として振り返りを行うことができました。異動には環境変化が伴うためいくらかの困難はありますが、それ以上に沢山のスタッフ、他部門の職員、多彩な患者さん、地域の方々との出会い、その土地の地域環境や文化に触れ合うことも自分を成長させる大きな財産となりました。

まだまだ伝えたい事は沢山ありますが、皆さんと一緒にこのNHOで新たな出会いを経験してみませんか。

様々な地域・病院で 経験ができる!

平成29年度採用
寺林 菜那



私は3年制の養成学校を卒業してから七尾病院で4年勤務し、慢性期の神経難病や小児のリハビリテーションを経験することができました。回復期リハビリテーションを経験したい気持ちができ、東名古屋病院に転勤する希望が叶いました。東名古屋病院では最初に難病班に所属し神経難病や重症心身障がい児者、2年目からは回復期班で脳血管疾患に対する理学療法を担当させていただいています。

同じグループの機構病院でも規模や役割・特色は異なっており、様々な知識や経験ができるなど日々感じています。慣れた環境を離れ、新しい環境で働き始める時は不安がありましたが、先輩や同僚スタッフの皆さんに教えていただきながら今では楽しく働くことができます。





患者さんに寄り添い、 人生の再設計をお手伝いします。

作業療法士は身体および精神に障害を抱えた方々が、障害をもちながらもこころ豊かに地域生活を送ることができるように、病期病状に応じたリハビリテーションサービスを提供します。

特に国立病院機構が担う政策医療を確実に実施するため、神経・筋疾患、神経難病、骨・運動器疾患などの身体障害、呼吸器疾患・循環器疾患といった内部障害、成育医療・重症心身障がいなどの発達障害、統合失調症をはじめとする精神障害など様々な分野を対象としています。それぞれの分野において専門的な治療、研究、教育、情報発信を行う病院ネットワークを生かしながら、作業療法業務に専門的に取り組んでいます。

Carrier Up キャリアアップ

作業療法士として採用された後、主任作業療法士、副作業療法士長、作業療法士長へ昇任する制度があります。

研修会・講習会

各病院での教育研修の他、国立病院機構本部やグループが主催する研修があります。本部主催研修としてはリハビリテーション研修（急性期、セーフティネット）、リハビリテーション領域における業務改善の考え方研修、青年共同宿泊研修等が予定されています。

グループ主催研修としては、中間管理者研修、クリティカルパス研修、医療安全対策研修等が他職種と一緒に取り組む研修も数多く企画されています。



先輩からのメッセージ

ママとOT、両方
楽しく頑張れます！

平成26年度採用
配島 由希子



3児の子育て中の「ママOT」です。家庭と子育ての両立に関して、国立病院機構にはたくさんの良い点があります。産前産後休暇・育児休業に対する体制が整っているので、周囲の理解も厚く、妊娠中から治療の際の介助量が多くなるように、また急な休みに対応しやすいように、など配慮があり、とても助かりました。育児休業復帰後も、必要に応じて育児短時間休業という短時間勤務の制度を利用できるなど安心です。皆に支えられてばかりですが、小児のリハビリテーションに関し、若いスタッフに対して子供の保育園や小学校での生活を自らの経験でアドバイスできるなど、ママOTだからこそできる貢献もあり、毎日が充実しています。皆さんも一緒に働いてみませんか？

多くの経験ができる
職場です！

令和元年度採用
笹島 崇伸



私は3年制の専門学校を卒業し新卒で名古屋医療センターに就職しました。作業療法士としてまた、社会人として働いていく上で不安がありました。しかし、先輩のセラピストの方々が丁寧にリハビリに関することを含め様々なことを教えていただき、少しずつ仕事に慣れていくことが出来ました。現在は、脳神経内科チームでリハビリテーションを実施しています。脳血管疾患や神経難病を中心に担当していますが、うまくいかないことが多く悩むこともあります。そのような時は作業療法士の先輩方だけでなく同じチームの理学療法士や言語聴覚士の先生方に相談しながら早期離床を目標に取り組んでいます。また、カンファレンスを通して他職種との情報共有をする機会も多く様々な視点を学ぶ機会になっています。臨床以外では院内の勉強会やリハ科内での症例発表、同グループの病院である東名古屋病院での新人研修への参加など離床場面以外の部分も充実していると思います。まだまだ未熟な部分が多いですが、様々な疾患を見ることができ名古屋医療センターで経験を積んでいきたいと思っています。

様々な経験ができる
職場です！

令和元年度採用
安田 香織



私は3年制の専門学校を卒業し、北陸病院に就職しました。北陸病院は精神疾患、認知症、神経難病、重症心身障がい児者など幅広い医療を行っています。そのため、私自身も1、2年目は精神疾患、認知症、3年目から現在は神経難病、重症心身障がい児者の作業療法に携わっています。病院内に精神障害分野と身体障害分野があるため、より多様な経験を積む事ができる環境と感じています。その反面、違う分野という事で戸惑う事も多いですが、様々な分野で活躍してきた作業療法士の先輩方、また理学療法士の先輩方に相談し、助けていただいています。まだまだ未熟な点は多いですが、多様な専門性が身につくよう今後も経験を積み、励んでいきます。

専門性を身につけ、
新しい職場で
チャレンジ！

平成24年度採用
加藤 佳子



私は養成校卒業後、北海道東北グループの八雲病院（現在の北海道医療センター）へ就職し、筋ジストロフィー等の小児の難病患者さんの支援に7年間従事しICT機器を活用した活動支援やコミュニケーション支援、呼吸リハビリテーション、車いすシーティングを学びました。その後は実家が岐阜ということもあり、東海北陸グループの東名古屋病院へ転勤し、パーキンソン病やALSなどの成人の難病患者さんの支援等に3年間携わり、令和4年より地元にある長良医療センターに配属となりました。長良医療センターでは筋ジストロフィーや重症心身障害、発達障害分野のリハビリテーションに従事しています。転勤1年目で研究発表の機会をいただき、これまでの専門性を活かしながら働くことができている。ライフステージに合わせて働く場所を選び、自分の専門性を活かし高めながら働くことができるので、とても働きやすい環境です。





あなたも国立病院機構で障害児(者)福祉のスペシャリストとして働いてみませんか。

児童指導員は、入院(入所)されている患者さん(重症心身障害、筋ジストロフィー等の患者さん)への支援を主に行う職員です(医療機関の中の福祉職)。児童福祉法や障害者総合支援法等に基づいて、患者さんの健全育成、福祉の増進等を図っています。日常生活場面での直接的な支援から専門的でより高度な支援(社会福祉・心理・教育支援)まで、幅広く取り組んでいます。

“児童発達支援管理責任者”や“サービス管理責任者”等の業務も担いながら、チーム医療の現場において、障害福祉分野のスペシャリストとして活躍しています。



児童指導員が担う主な業務

- 発達支援・QOL支援(療育・行事活動等)
- 日常生活を支える支援
- 相談・連絡調整業務(家族、行政機関等)
- 障害福祉サービスに関する業務

児童指導員は
重い障害を持たれた方の
「いのち」と「生活」と「人生」を
他職種と連携して
支えています!

先輩からのメッセージ

生きがいを感じる事ができる仕事です!

平成19年度採用
番里 絵



私は教育学部を卒業後、青年海外協力隊としてアフリカで活動し、帰国後は国際協力に関わる仕事をしていました。その後、長良医療センターでボランティアをした事をきっかけに、児童指導員の職を選びました。児童指導員の仕事は、病棟での生活支援、療育活動の計画・実施、他機関との連携等、多種多様です。現在は筋ジストロフィーと重症心身障害の患者さんの病棟を担当しています。一緒にカラオケをしたり、進路の相談を受けたりする中で、自分自身も患者さんから学ぶ事が多いです。児童指導員になり14年経った今でも、自分の経験や知識不足に悩む事は多いですが、患者さんの人生を豊かにしていると実感できるこの仕事に生きがいを感じています。

患者様との関わりの大切さを実感できる仕事です

令和4年度採用
西村 ひな



私は大学で子ども福祉について学んだことをきっかけに児童指導員を志望しました。現在は筋ジストロフィー病棟に配属されています。業務内容は療育予定の立案・実施、福祉機関との連絡・調整、患者様の日常生活支援等です。患者様に病棟での生活をより楽しく快適に過ごしていただけるよう心がけて支援するなかで、私自身も患者様との会話や療育を通してたくさんの元気と笑顔をいただいています。児童指導員の仕事は多岐にわたり大変なこともたくさんありますが、毎日患者様と関わることができるこの仕事は、とても楽しくやりがいを感じています。今後も患者様との関わりを楽しみながら、よりよい生活のために児童指導員として頑張っていきます。



大変だけど、やりがいのある仕事です!

平成24年度採用
土屋 早紀



私は、大学で特別支援教育を学んだことがきっかけで、児童指導員を志望しました。現在、重症心身障害児・者病棟を担当しています。業務内容としては、日常生活の支援や療育活動支援、行事の企画・運営、家族及び成年後見人・行政等との連絡・調整、在宅支援として短期入所の受入・連絡・調整等を行っています。仕事は多岐にわたり、失敗することも多く、また時間に追われて大変なこともあります。入所者様との日々の関わりの中で、楽しく感じることもたくさんあります。これまでできなかったことができるようになる等の入所者様の变化を近くで見ることができたり、笑顔が見られたりすることに、とても喜びを感じています。また短期入所を利用していただくことで、重症心身障害児・者の在宅で生活してみえる方のご家族に喜んでいただけると、やりがいを感じます。大変なところはありますがおもしろい仕事を、ぜひ一緒にやっていきましょう!

笑顔のループ

令和2年度採用
後藤田 有美



私は重症心身障害児者病棟で児童指導員として働いています。普段は保育士さんと一緒に療育活動、行事やそれに伴う準備、日々の生活支援を行っています。また短期入所の受入れも業務の1つとして担っています。採用年度が新型コロナウイルス流行時期だったため、外出行事やご家族やボランティアさんも参加される大勢での行事をまだ経験できていません。感染拡大防止のため入所者様にとってはいろいろと我慢を強いられる生活かもしれませんが、今は少しでも楽しく日常を過ごしてもらえるように院内行事を増やしたり、個人的には挨拶や声かけを意識して関わったりしています。朝、病棟で挨拶をして笑顔で応答してもらったり、療育活動や行事で楽しんでいる姿を拝見したりするとこちらも自然と楽しく過ごせる、そんな職場です。

東海北陸グループ 病院一覧

1 富山病院 [富山県]



〒939-2692
富山県富山市婦中町新町3145
Tel 076-469-2135
<https://toyama.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 285床
政策医療
成育医療、呼吸器疾患(結核)、重症心身障害



2 北陸病院 [富山県]



〒939-1893
富山県南砺市信末5963
Tel 0763-62-1340
<https://hokuriku.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 272床
政策医療
精神疾患、神経難病、重症心身障害



3 金沢医療センター [石川県]



〒920-8650
石川県金沢市下石引町1-1
Tel 076-262-4161
<https://kanazawa.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 554床
政策医療
がん、循環器病、精神疾患、成育医療、腎疾患、内分泌・代謝性疾患、感覚器疾患、肝疾患、長寿医療、エイズ、災害医療、呼吸器疾患、血液・造血器疾患、骨・運動器疾患



10 静岡医療センター [静岡県]



〒411-8611
静岡県駿東郡清水町長沢762-1
Tel 055-975-2000
<https://shizuoka-mc.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 450床
政策医療
循環器、がん、免疫異常、エイズ、神経・筋疾患、重症心身障がい



11 名古屋医療センター [愛知県]



〒460-0001
愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
Tel 052-951-1111
<https://nagoya.hosp.go.jp/>
病床数(医療法) ● 656床
政策医療
血液・造血器疾患、がん、循環器病、免疫異常、精神疾患、成育医療、内分泌・代謝性疾患、感覚器疾患、骨・運動器疾患、神経・筋疾患、呼吸器疾患、腎疾患、肝疾患、エイズ、災害医療



12 東名古屋病院 [愛知県]



〒465-8620
愛知県名古屋市長区梅森坂5-101
Tel 052-801-1151
<https://higashinagoya.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 370床
政策医療
呼吸器疾患(結核)、神経・筋疾患(神経難病)、重症心身障がい、エイズ



4 医王病院 [石川県]



〒920-0192
石川県金沢市岩出町ニ73-1
Tel 076-258-1180
<https://iou.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 310床
政策医療
神経・筋疾患(筋ジスを含む)、成育医療、重症心身障がい、エイズ(小児)、骨、運動器疾患



5 七尾病院 [石川県]



〒926-8531
石川県七尾市松百町八部3-1
Tel 0767-53-1890
<https://nanao.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 239床
政策医療
呼吸器疾患(結核を含む)、重症心身障害、神経・筋疾患



6 石川病院 [石川県]



〒922-0405
石川県加賀市手塚町サ150
Tel 0761-74-0700
<https://ishikawa.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 215床
政策医療
循環器病、重症心身障害、エイズ



13 東尾張病院 [愛知県]



〒463-0802
愛知県名古屋市長区大森北2-1301
Tel 052-798-9711
<https://higashiowari.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 233床
政策医療
精神科救急・急性期治療、身体合併症を伴う精神疾患、心身喪失者等医療観察法病棟による指定入院・指定通院医療機関



14 豊橋医療センター [愛知県]



〒440-8510
愛知県豊橋市飯村町字浜道上50
Tel 0532-62-0301
<https://toyohashi.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 388床
政策医療
がん、循環器病、内分泌・代謝性疾患、重症心身障がい



15 三重病院 [三重県]



〒514-0125
三重県津市大里窪田町357
Tel 059-232-2531
<https://mie.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 260床
政策医療
成育医療、重症心身障がい、国際医療協力



7 長良医療センター [岐阜県]



〒502-8558
岐阜県岐阜市長良1300-7
Tel 058-232-7755
<https://nagara.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 401床
政策医療
循環器病、神経・筋疾患、成育医療、重症心身障がい、呼吸器疾患



8 静岡てんかん・神経医療センター [静岡県]



〒420-8688
静岡県静岡市葵区漆山886
Tel 054-245-5446
<https://shizuokamind.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 406床
政策医療
神経・筋疾患(てんかん・神経疾患)、重症心身障害、国際医療協力



9 天竜病院 [静岡県]



〒434-8511
静岡県浜松市浜名区区呂4201-2
Tel 053-583-3111
<https://tenryu.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 316床
政策医療
重症心身障がい、成育医療、呼吸器疾患(結核を含む)、神経・筋疾患医療



16 鈴鹿病院 [三重県]



〒513-8501
三重県鈴鹿市加佐登3-2-1
Tel 059-378-1321
<https://suzuka.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 290床
政策医療
神経・筋疾患(進行性筋ジストロフィー、神経難病)、重症心身障がい



17 三重中央医療センター [三重県]



〒514-1101
三重県津市久居明神町2158-5
Tel 059-259-1211
<https://miechoo.hosp.go.jp/>
病床数(医療法) ● 486床
政策医療
成育医療、がん、循環器病、呼吸器疾患、エイズ



18 神原病院 [三重県]



〒514-1292
三重県津市神原町777
Tel 059-252-0211
<https://sakakibara.hosp.go.jp>
病床数(医療法) ● 175床
政策医療
老年期、急性期・身体合併を含む精神疾患、心身喪失者等医療観察法による指定医療入院機関

